

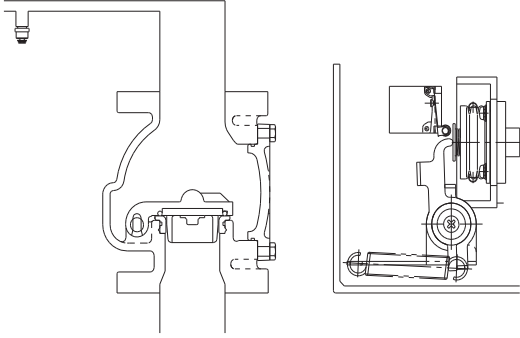
流水検知装置（作動弁型）の働き

AUTOMATIC ALARM VALVE

湿式流水検知装置（作動弁型）作動説明図

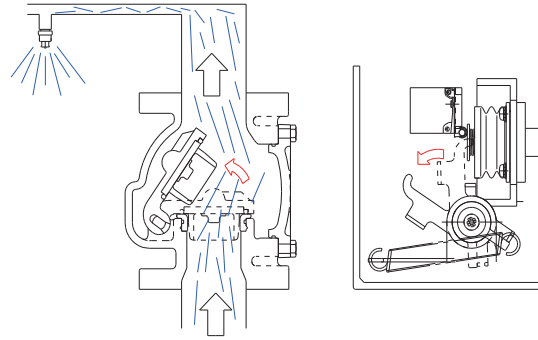
1 警戒状態

流水検知装置内の弁体は閉じた状態にあります。タイマーユニットは流水検知装置の作動により作動信号（警報）を発せる状態にあります。



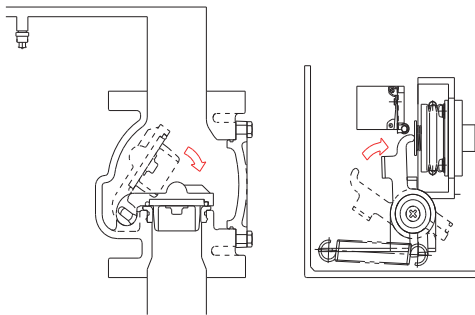
2 火災発生時

火災が発生するとスプリンクラーヘッドの作動により散水が開始され、配管内に流水が発生します。流水により流水検知装置の弁体が押し上げられます。弁体が押し上げられると、タイマーユニット内のエアタイマーが作動します。エアタイマーの作動遅延時間以上弁体が押し上げられ続けると、マイクロスイッチが押されて回路が閉じ、作動信号を発します。



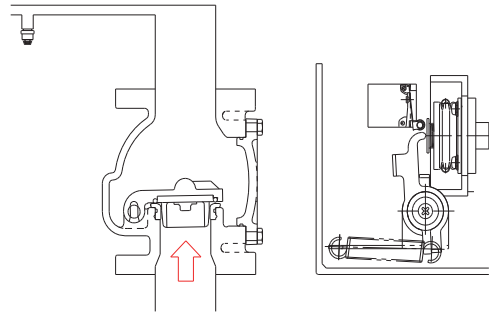
3 復旧

送水停止（流水検知装置の一次側制御弁閉止やスプリンクラーポンプの停止）により配管内の流水が停止すると、弁体が閉じます。弁体に戻るとタイマーユニットが平常時の状態に戻り、作動信号が停止します。



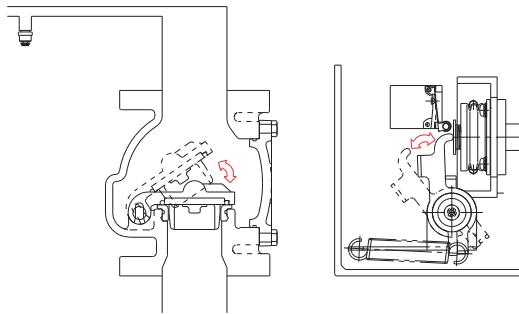
4 警戒状態での少量流水による誤報防止

警戒状態においてなんらかの原因で流水検知装置内に少量の流水が発生した場合は、弁体が若干開いて流水が通過します。この場合の微少な弁体の動きでは、マイクロスイッチを押すだけのストロークは無いので、作動信号は発信しません。



5 警戒状態での衝撃圧力による誤報防止

流水検知装置一次側管内で、ポンプ起動による衝撃圧力およびウォーターハンマーなどの発生によって流水検知装置の弁体が瞬間的に押し上げられた場合、一瞬「信号確認レバー」が傾きますが、まもなく弁体に戻ると「信号確認レバー」も元の位置に戻り、エアタイマーがマイクロスイッチを押さずに元の位置に戻り、誤報防止します。



巻頭

易操作性
1号消火栓

1号消火栓

広範囲型
2号消火栓

補助散水栓
2号消火栓
天井設置型

屋内
消火栓
設置基準

屋外
消火栓
設置基準

放水口接続
放水口
ホース接続

補助水櫃・弁
コンセント

凍結送水管
技術基準
(強 弱)

消火栓弁

ノズル・
結合金具

ホース・
ホース架

送水口・
アイユニット

採水口

スプリンクラー
ヘッド

流水検知装置
スプリンクラー
巻出配管

泡消火
設備

緊急継手・
テスト金具

バキューム
消火設備

消火器・
消火器接続

移動式粉末
消火設備

テニコ付
散水栓器具・
スベアパーツ

消火栓・
給水栓

放水銃
他

文化財向
設備用
放水銃

技術資料
目次

品名・型番
索引